



本格的な台風シーズンに備えて、避難所開設訓練を実施しました

7月29日(金)に和田コミュニティセンターにて、市役所職員を対象とした災害時避難所開設訓練が行われました。台風シーズンに向け、新型コロナウイルス感染症に対応した受付時の手順や、ダンボールベッド、障害者用臨時トイレなどの設置、ガス発電機や無線機等、機材の操作方法などについても確認しました。現地対策本部長の込山所長は、「本日の訓練を通し、避難所の設営や資器材の取り扱い等について再確認するとともに、いつ起きるかわからない災害に備え、職員間の共通認識を深め、市民にとってより良い避難所運営をしたいと思います。」と話していました。



訓練には23名の職員が参加



ダンボールベッド



受付対応



障害者用臨時トイレ



新型コロナウイルス感染症に対応した避難所運営について

- ・自宅で安全確保が可能な人は感染リスクを負ってまで避難所に行く必要はありません。本当に避難所に行く必要のある方を適切に受け入れられるようご協力ください。
- ・避難する際は、避難中の食べ物や、寝るための毛布等、短い間でも各自が使用する生活用品の他、マスクや体温計、使い捨てスリッパ等の室内履きも持参し、自身を感染から守るよう心がけてください。
- ・避難所内の感染拡大を防止するため、風邪の症状や発熱がある方、咳や息苦しさ、味覚・臭覚障害のある方は、避難所への避難を控え、かかりつけ医の指示を受けてください。



和田浦でツチクジラ漁の操業開始

8月2日(火)より操業が始まった外房捕鯨のツチクジラ漁は、初日に1頭捕獲があり、翌朝5時より、処理場にて解体作業が行われました。処理場から川を隔てた空き地には早朝より20人ほどが集まり、ウィンチを使い、分厚い皮が一気に剥がされていく様子などを見学していました。また解体が終わった8時頃からは、鯨肉の販売が行われ、バケツやクーラーボックスを持つ人の列ができていました。



「花」と「くじら」絵画コンクール作品募集

和田地区の代表的な産業「花」と「くじら」をテーマとした絵画コンクールを今年も開催します！

- ・応募資格 小学生以上
- ・応募規定 お一人様1点まで。未発表の作品であり、模倣は不可
画用紙のサイズは八つ切(27cm×39cm)か四つ切(39cm×54cm)
絵具、クレヨンなど画材は自由
- ・応募先 和田地域センター内「花」と「くじら」絵画コンクール係 Tel 47-3427
- ・応募締切 9月10日(土)
- ・主催 チーム花鯨(市民提案型まちづくりチャレンジ事業採択団体)

ビーチクリーン活動を実施

7月31日(日)に白渚海岸のビーチクリーン活動が実施されました。チーム花鯨の会員が中心となり、朝8時より30分程度、海岸や道路脇のペットボトルや空き缶・空きビンなどを拾いました。

今回も大勢のサーファーの皆さんが活動に参加し、ゴミ拾い後に行う、ゴミの分別や運搬作業にも積極的に協力してくれていました。



盛況 納涼わだうら寄席



7月23日(土)に和田コミュニティセンター3Fホールにおいて、南房総落語愛好会による納涼わだうら寄席が開催されました。当日は、落語ではおなじみの演目、「寿限無」「時そば」などが披露され、滑稽な話しのオチでは会場から笑い声が上がっていました。落語愛好会の代表を務める東家四九八九さんは「皆様のお陰で第1回発表会を開催する事ができました。これからも地域に笑いの輪を広げるため会員一同、稽古に励みます」とおっしゃっていました。

夏休み子ども落語実技教室を開催

市民団体「南房総三龍亭」による子ども落語実技教室が3日間の日程で実施され、落語に興味を持つ小学3年生から6年生までの13名の子ども達に参加しました。教室では、講師の三龍亭千公さん、三龍亭夢学さんの他、南房総落語愛好会の会員らも指導に加わり、落語の知識や技能を教わりました。2日間稽古した成果は7月31日(日)に「子ども落語発表会」として、ご家族を中心とした関係者を前に、和田コミュニティセンター3Fホールで披露されました。高座に上った子ども達は、少し緊張しながらも、声色やしぐさを交え、上手に登場人物を演じ分けていました。



★お知らせ★ 納涼夜席(のうりょうよるせき) ~怪談・講談・落語の夕べ~

8月28日(日)17時開演 とみうら元気倶楽部 さざなみホールにて 入場無料

問合せ・申込先 南房総三龍亭 090-1555-5031 zz547nt93152@yahoo.co.jp

